

# 令和4年度入学生用教育課程

- 年次進行型の単位制の特色を生かし、基礎から応用までの確かな学力の育成を目指します。
- 理解を深めるため、個々に応じた習熟度別学習を行う科目もあります。

赤色…必修科目 緑色…総合コース 黄色…理系コース ○印の中の数字は単位数

※3年間での履修は、77単位（総合コースは75単位）以上。卒業要件は74単位以上の修得。

1 年次	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	現代の国語③			言語文化②		地理総合②		数学Ⅰ③		数学A②		化学基礎②		生物基礎②		体育③		保健①		音楽Ⅰ 美術Ⅰ 書道②		英語コミュニケーションⅠ④		情報Ⅰ②		総合的な探究の時間①		LHR①		

2 年次	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	総合	歴史総合②		公共②		体育③		保健①		英語コミュニケーションⅡ④		論理国語④		数学Ⅰ②		物理基礎 地学基礎②		論理・表現Ⅰ②		家庭総合④		校外講座 芸術Ⅱ 地理探究 Ad EⅠ ② 選択なし		総合的な探究の時間①		LHR①				
理											論理国語②		数学Ⅱ④		数学B②		物理基礎②		化学 生物④		家庭基礎②									

3 年次	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30				
	総合	体育②		総合的な探究の時間①		文学国語④		政治・経済②		英語コミュニケーションⅢ④		論理・表現Ⅱ②		古典探究 国語表現 日本史探究 世界史探究④		フードデザイン スポーツⅡ 保育基礎 情報デザイン 音楽Ⅲ 美術Ⅲ 書道Ⅲ②		倫理 フードデザイン スポーツⅢ 情報システムの プログラミング 実用の書 器楽、素描②		LHR①		自由選択 (5科目まで選択できます) 論理国語 国語表現 実践現代文 地理探究 日本史特論 世界史特論 近現代と神奈川 数学Ⅰ 数学C 物理基礎 化学基礎 生物基礎 Advanced EnglishⅡ 英語探究 比較文化探究 幼児教育音楽 ファッション造形基礎 情報Ⅱ ビジュアルデザイン 最大⑩ すべて2単位												
理			論理国語②		数学Ⅲ④		物理 化学 生物④		英語コミュニケーションⅢ④		論理・表現Ⅰ②																							

- ※ 文部科学省が定めた教科・科目以外に本校独自の教科・科目もあります。
- ※ 緑色の必修選択科目は、1つのマスの中で1科目を選択します。
- ※ この教育課程表は、今後変更される可能性もあります。

## 1年次の時間割例

	月	火	水	木	金
SHR	8:40～8:45				
1校時	数学A	地理総合	言語文化	数学Ⅰ	現代の国語
2校時	体育	美術Ⅰ	英語Ⅰ	保健	英語Ⅱ
3校時	現代の国語		生物基礎	英語Ⅲ	情報Ⅰ
4校時	LHR	数学Ⅰ	体育	化学基礎	
昼休み	12:45～13:30 昼食				
5校時	化学基礎	英語Ⅳ	現代の国語	地理総合	数学Ⅰ
6校時	生物基礎	言語文化	数学A	総探	体育
SHR	15:20～ 清掃・委員会活動・部活動				



# 授業紹介

主体的・対話的で深い学びの実践



「表現力を身に付ける」

## 国語

多様な文章を一つ一つ丁寧に読み解き、語彙力の充実と文章を深く読み味わうことを目標に授業を展開しています。さらに、自身の考えを発表し合う機会も設け、自己の表現力の向上につなげています。

## 地理歴史・公民

毎回の授業にメインテーマを据えて学んでいます。スマートフォンを使って情報収集をしたり、見つけた情報を活用して自分の考えを言語化したりする取り組みをしています。来年度の新科目でも知識の定着に加え、知識を活用することで判断力や表現力を身に付けることができる授業展開をしていきます。



「知識を踏まえて判断する」



「英語を通じて自分を広げる」

## 外国語

話すこと、書くことを通じて日常生活レベルの英語を身に付けていきます。英語をイメージしやすいよう絵や写真を見ながら英語の学習を進めていきます。授業内では、ペア活動やグループ活動を通じて、周りの生徒に自分の考えを英語で伝える活動が多く、楽しく学習することができる教科です。

## 理科

授業で行う「探究活動」では、自分で調べるだけでなく、気づいたことをスマートフォンから送信し、全体に情報を共有します。本授業では、生徒がスクリーンを通して、様々な情報を見ることで、より深い知識の定着を目指しています。来年度以降も、さらにこのような“生徒が主となり、学びを深める”取り組みを増やしていきたいと考えています。



「スマホから意見を共有しよう」